

水辺の散乱ゴミの指標評価手法（海岸版）

ゴミ状況<ランク>の判定方法

撮影地点を中心に、海岸線延長距離約 10m に漂着しているゴミ（自然物を除く）の量（かさ容量）を目視で確認します。

〔10m〕×〔海岸の奥行き〕の範囲にある漂着ゴミを回収したと想定した場合、中型の家庭用ゴミ袋（幅 50cm×高さ 60cm）でおおよそ何袋必要になるかを推測します。

下表よりゴミ袋の数量に対応した<ランク>を求めます。

ゴミ袋数と<ランク>の対応表

〔海岸線延長距離 10m〕×〔海岸の奥行き〕の範囲の漂着ゴミを回収したと想定

ランク	ゴミ袋(袋)	回収した際のゴミのかさ容量の表現として	かさ容量(ℓ)
0	0	(自然物を除いて) 全くゴミがない	0
T (trace)	約 1/8	500ml のペットボトルなら 3~4 本分程度	2.5
1	約 1/4	2ℓ のペットボトルなら 2 本分程度	5
2	約 1/2	2ℓ のペットボトルなら 4 本分程度 200~350 ml の飲料缶ならば 15 本分程度	10
3	約 1	2ℓ のペットボトルなら 8 本分程度 200~350 ml の飲料缶ならば 30 本分程度 ポリタンクならば 1 本分程度	20
4	約 2	2ℓ のペットボトルなら 16 本分程度 ポリタンクならば 2 本分程度	40
5	約 4	2ℓ のペットボトルなら 32 本分程度 みかん箱ならば 3 個分程度	80
6	約 8	ドラム缶ならば 1 本分未満	160
7	約 16	ドラム缶ならば 1.5 本分未満	320
8	約 32	ドラム缶ならば 3 本分未満	640
9	約 64	1 立方メートル程度	1,280
10	約 128	軽トラックで 1 台分程度	2,560

※水辺の散乱ゴミの指標評価手法（海岸版）は国土交通省東北地方整備局、J E A N / クリーン アップ全国事務局（現一般社団法人 J E A N）及び特定非営利活動法人パートナーシップオフィスが、協働で 2004 年に開発したものです。